

平成21年度 各協議会・部会活動報告

《病院栄養士協議会》

国仲 朝代

平成21年度は、病院栄養士業務が所属施設の栄養管理、給食管理にとどまらず、患者様を中心とした、地域連携、ネットワーク作り等に向け各方面で活躍し始めた年でした。また、多職種協同による栄養管理実施加算やNST活動も各施設で活発に取り組みられていました。今回の22年度の診療報酬改定では、今までの実績を踏まえ『栄養サポートチーム加算』が新設されましたが、今回は試行的に評価を行うようで、平成24年度での診療報酬・介護の同時改定への影響は大きいようです。

21年度は病協独自の研修会は1回でしたが、多岐にわたり、研修会、研究会、講習会等の多い年でした。「減塩6g未満」「カーボカウント」「特定健診」「ホスピスケア」他、いろいろなキーワードがありますが、食べる事、健康を育む事に関して、会員の皆さんが情報を共有し、技術研鑽できた事と思います。

<活動状況>

1. 研修会

「検査値に基づいた栄養アセスメント」

せんぼ東京高輪病院 栄養管理室長 足立香代子

2. CKD 戦略研究への協力

3. J-DOIT 2 (2型糖尿病を支援するシステムの有効性に関する研究協力)

4・地域活動

- ① 小児糖尿病サマーキャンプ：8/15～8/18 玉城青年の家
- ② 糖尿病週間行事：展示、栄養相談、講演会「カーボカウントについて」
- ③ 栄養ケアステーションでの栄養相談：15回/年
- ④ 看護協会での講演会、調理実習：高齢者の食事について
- ⑤ IBD友の会との調理実習：

《地域活動栄養士協議会》

狩俣 美智子

平成21年度は、クリニック、市町村ヘルスアップ事業における栄養相談、保育園や学校、地域での食育の講師、高齢者の介護予防教室の講師、企業とタイアップした健康クッキング、外食アドバイザー派遣事業等に加え、初めて特定保健指導の依頼を受け栄養相談を実施しました。栄養ケアステーションの拡充に伴い今後に期待したいです。世界保健デー記念事業に於いては、地栄協会員が中心となり2ヶ所の大手スーパーにて栄養相談を実施しました。

その他、全国地栄協の研究大会で当県の活動報告の機会が得られ、成功裏に終了することができました。また、食育地域食育推進大会では、新調の衣装で食育寸劇を披露するなど多くの会員がイベント等に関わり、マスコミの執筆依頼、出演依頼にも対応し幅広く活動することができました。食育研究会の「うちな一版食育カルタ」も地域に浸透し食育に貢献しているところです。会員の皆様には各事業に快く対応していただき深く感謝いたします。

各勉強会等にてスキルアップを図り、情報を共有しつつ、他機関・他職種との連携を図りながら各自が持てる力を出し合い、新しい分野にも挑戦できるよう取り組んでいければと思います。

会員の皆様のご意見、ご指導、ご協力を希望し定例会へのご参加をお待ちしております。

★定例会・・・毎月（5月、8月、1月、を除く）第3土曜日 10時～12時 栄養士会事務所

（変更や中止もありますので、事務局に確認してご参加ください。）

《行政栄養士協議会》

松川 里佐

今年度も引き続き、特定健診・特定保健指導の業務が市町村行政栄養士の中心業務であり、また、食育基本法に伴う「食育推進計画」についても推進が図られているところであります。効果的な栄養指導を担うことはもちろんですが、施策として業務を推進するためには行政栄養士がどのように取り組めばいいのか、行政部会としても研修会を開催し、栄養士会会員の情報交換をいたしました。また、平成20年10月厚生労働省健康局より通知の「地域における行政栄養士による健康づくり及び栄養・食生活の改善について」及び室長通知の「地域における行政栄養士による健康づくり及び栄養・食生活の改善の基本指針について」が通達されており、行政栄養士の重要性が図られているところであります。

これからの課題としては、健康危機管理体制の検討や地域の保健サービスにおける栄養士の質の向上等、取り組まなければならない事案が多くあります。地域住民の健康づくりの一端を担うのはもちろん、病院やクリニック、施設等とも連携して地域全体の栄養行政を考えていく時代になり、職能団体である栄養士会の一部としても検討していきたい。

《福祉栄養士協議会》

山内 久美

平成21年度は、障害児（者）施設でも、障害者自立支援法による施設体系に移行した施設においては、栄養マネジメント加算、経口移行加算、経口維持加算、療養食加算が平成21年の障害福祉サービス報酬改定により導入され、「栄養マネジメント」「栄養改善」の技術の向上が求められるようになりました。そこで、栄養マネジメントを適切に実践する為の研修会を、今年も、全国福祉栄養士協議会会長（政安静子氏）を講師に研修会を、6月に実施しました。多くの会員が、栄養マネジメントの技術の習得を確立しました。また、「健やか親子21」事業の「児童福祉施設におけるクッキング講座」を今年も、八重山島と宮古島で実施し、初めての離島での開催となり不安でしたが、地元のスタッフや会員の協力のもと、大成功に終わることが出来ました。ありがとうございます。

全国福祉栄養士協議会では、福祉施設に勤務している管理栄養士・栄養士の身分の確率、業務の確率・拡大を基本とした福祉施策への要望を裏付ける調査研究が行われました。多忙にも関わらず、調査依頼に多くの会員や他職種・家族の協力がありました。感謝致します。

大きく福祉施策が展開する中、福祉施設に働いている管理栄養士・栄養士の身分確立と、最新の情報を共有し業務の推進が図れるよう頑張っていきたいと思っておりますので、会員皆さんの協力をお願いいたします。

<研修会>

① 全国研修会

平成21年11月28日(土)・29日(日) 東京ビッグサイト(6名参加)

②障害児・者施設における栄養マネジメント研修会

{東会場}平成21年5月16・17日(土・日) 静岡県 熱海市(2名参加)

{西会場}平成21年9月19・20日(土・日) 大阪市 (5名参加)

③第14回専門研修会

「日本人の食事摂取基準(2010年版)理論と活用」

「栄養疫学の考え方、研究方法、解釈のコツ」

平成21年7月11・12日(土・日) 静岡県 熱海市(3名参加)

④沖縄県福祉栄養士研修会

平成21年6月26日(金) 総合福祉センター (98名参加)

⑤スキルアップ研修会

平成21年10月2日(金) 恩納村福祉センター (50名参加)

⑥児童福祉施設におけるクッキング講座

平成21年6月27日(土) 八重山島

平成21年6月28日(日) 宮古島

<各種調査>

高齢部会:「高齢者用簡易栄養状態アセスメント票」による調査と同時に、「簡易型自記式食事歴訪質問票(BDHQ)」を用いての調査

障害部会:平成21年度障害者保健福祉推進事業(障害者自立支援調査研究プロジェクト)

国庫補助金「地域における障害者の栄養・健康状態の実態および意識・ニーズに関する調査研究」、「グループホーム、通所授産施設を利用する障害者の食生活状況の把握と簡易型の食事アセスメントツールを確率する事を目的に3日間の食事記録調査」「障害者やその家族、世話人等による栄養・健康状態に対しての意識および管理栄養士・栄養士に対するニーズを明確にするため、障害者を対象に質問票調査」

各部会活動

老人部会・・・年4回の学習会 老健施設部会・・・年4回の学習会

児童部会・・・毎月の学習会 障がい部会・・・年3回の学習会

福祉協議会定例会・・・毎月第2水曜日 午後7時30分 栄養士会事務所

多くの会員の参加お待ちしております。

《学校健康教育栄養士協議会》

金城 奈津子

平成21年度は食育カレンダーの作成・販売を中心に活動しながら、各種研修会や講演会に参加しました。ご協力いただいた会員の皆様には感謝いたします。

今後も子どもたちの健康のために、会員が協力していけるようにしていきたいと思っています。

<主な活動報告>

- ・ 食育カレンダー作成・販売
- ・ 栄養ケア・ステーション（電話相談）
- ・ 沖縄県栄養士会肥満改善大作戦シンポジウム
- ・ 栄養士研究発表会

《集団健康管理栄養士協議会》

儀保 玲子

平成21年度は県栄養士会主催の独自事業、委託事業に参加しました。集団健康管理は会員が少なく、協議会独自の事業は難しいのが現状です。

平成22年度は、沖縄県栄養士会主催の事業等に積極的に参加するとともに、集団健康協議会独自の事業を計画し、会員同士のつながりを深め、協議会を充実させていきたいと思っておりますので、会員の皆様のご協力よろしくお願い致します。

(活動報告)

- ・ 新人栄養士研修会
- ・ 保健指導・栄養指導ブラッシュアップセミナー
- ・ 栄養学術講習会
- ・ 栄養士研究発表会

《宮古栄養士会部会》

小椽 初美

今年度の活動は「会員相互の資質の向上を目的に研修会、学習会」を中心に取り組みました。昨年末からお話があった「児童福祉施設におけるクッキング講座」に始まり県栄養士会地域活動栄養士研修会宮古島開催、沖縄情報システム株式会社主催のパソコン勉強会、タイ料理の調理実習等会員のご協力により有意義に終えることができました。

「児童福祉施設におけるクッキング講座」に向けては早くから保育園の園長会に出向き参加の願いをしたり定例会ではスキムミルク利用メニューの練習を何度も行ったり、役員の打ち合わせ会も頻繁に持ちました。県福祉協議会長の山内さんや理事の椿さんには計画から当日の宮古島参加、実施報告まで、色々とお世話になりました。お陰さまで多数の参加者があり、勉強になったので保育園でも取り入れて行きたい等の感想を聞くことができました。

「県栄養士会地域活動栄養士研修会」では地域活動栄養士協議会長の狩俣美智子さんや理事の大嶺順子さんには宮古の会員の為に計画や実施、当日の裏方、とお世話をかけました、また研修会調理実習講師の伊是名加江さんには楽しいトーク入りの調理実習で食材の詳しい説明や素材の活かし方等沖縄料理の基本をしっかりと学習させていただきました。職場ではいつも会員の皆さん教える立場ですが、この研修会では教わる立場になり多くのことを学ぶことができありがとうございました。

会員のスキルアップには充実した活動でしたが、地域還元の為に2年前まで行っていた夏休みの「小学生対象の料理教室」や高校生対象の料理教室などは実施することができなかったのは今後の課題としてとらえて行きたいと思っております。

宮古島市にも若い栄養士の方々は数多くいますが、宮古部会の会員として参加される方は少ないので、もっと多くの若い会員が参加できて楽しくなるような部会を目指して今後は頑張りたいと思います。

《八重山栄養士会部会》

神里 朋美

当部会は、5つの目標を掲げ、会員の積極的な参加のもと活動してまいりました。

部会の活動目標として

- ①地域に根ざした栄養士会活動の展開と広報活動の強化
- ②沖縄県栄養士会との連携
- ③定期的な拡大役員会の開催
- ④各専門班の活動の強化
- ⑤研修会の開催 を掲げています。

今年度は、初の試みで食生活改善普及月間（9月）にちなんで地元新聞紙へリレーエッセーを掲載し、健全な食生活の推進と併せて会のPRを行いました。

協力事業として石垣市主催「健康福祉まつり」での八重山栄養士会コーナーの設置、八重山地区保健医療協議会への出席、母子保健事業（乳幼児検診）への栄養士派遣、毎年恒例となりました八重山保健所主催の「ヘルシーメニューコンテスト」への共催、各専門班では、大量調理従事者衛生教育研修会（病院・福祉班）、子育てサポーター養成講座への協力（行政・地域活動班）、食育指導の進め方についての授業研究会（学校）等を行っていて、班活動の充実と個々の会員のレベルアップを図る部会活動を展開し、今後も地域の皆様の健康増進に関わっていきたいと思います。

《糖尿病療養部会》

福里 勝子

当部会の主な活動内容は、糖尿病に関する研究、研修会の開催、日糖協県支部が主催する小児糖尿病サマーキャンプ、全国糖尿病週間等の協力と、部会員への弥生、さかえの発送作業等を行っています。

小児糖尿病サマーキャンプにおいては、カーボカウントにて指導を行っています。昨年は、栄養士の事前の勉強会や念密な準備もあり、例年以上にチームワークを発揮し、充実したキャンプとなりました。

「食品及び料理による食後血糖値の変化についての研究」では、被験者の妥当性を確認する為の簡易 OGTT 検査を行いました。今年度は、それを元に沖縄独特の料理についての研究を重ね、日々の栄養指導業務に生かし、糖尿病患者の健康増進に寄与する事が出来ればと考えています。

また、当部会理事3名により、ヘルスケア・レストラン（栄養士のスキルアップとモチベーションの向上を目的とした月刊誌）に4回シリーズで執筆させて頂きました。沖縄の食について、全国へ発信する事が出来たと考えています。

小児糖尿病サマーキャンプや全国糖尿病週間、食品及び料理による食後血糖値の変化についての研究には、各施設、多くの方々の参加、協力がありました。参加、協力された皆様、どうもありがとう

ございました。

今年も、昨年のこれらの活動を基に、さらなるレベルアップを図りたいと考えていますので、ご協力の程、宜しくお願い致します。

〈活動内容〉

① 研修会 (全3回)

[I]6月6日 「糖尿病と肝臓病」 参加栄養士数 22名

ハートライフ病院 佐久川 廣先生

[II]11月30日 「糖尿病と歯周病」 参加栄養士数 30名

琉球大学医学部附属病院 高次機能医科学顎顔面口腔機能再建学 新崎章先生

[III]4月15日「糖尿病の薬について～日常服薬指導から～」

南部医療センター・こどもセンター 薬剤師 垣花 真紀子氏

②「食品及び料理による食後血糖値の変化について」経口ブドウ糖負荷試験 (OGTT)

5月31日、1月31日、2月7日 (全3回) 参加栄養士数 延べ33名

③第32回沖縄県小児糖尿病サマーキャンプ 8月12日～15日 玉城少年自然の家

参加栄養士数 延べ15名

④第45回全国糖尿病週間 10月17日

参加栄養士数 13名

講演:「今、注目の糖尿病食事療法ーカーボカウントー」 宮古島徳洲会病院 国仲 朝代

⑤弥生、「超美味低カロリーお菓子レシピ」執筆

平成21年11月号 「抹茶入りくずもち、紅芋・牛乳かん」浦添総合病院 照屋ふさ子

⑥ヘルスケア・レストラン [短期集中連載] ～沖縄からの食と栄養だより～

(福里、金城 (典)、国仲、山川 (美))

* H21.12月 世界一を誇る長寿者の体を支えた大豆と海藻、芋の食事

* H22.1月 医食同源を基本とする養生食としての沖縄の伝統料理

* H22.2月 全国でいち早く広まった米国式の食生活 求められる食育活動

* H22.3月 長寿再生 栄養士の取り組み

⑦弥生、さかえ発送作業